

# 更生保護たま

第21号  
多摩区保護司会

発行 会長 小林 秀夫  
編集 広報部 井田 秀人  
事務局 多摩区役所地域みまもり支援  
センター 地域ケア推進課内  
TEL044-935-3301  
印刷 プリントつかさ



妙楽寺 あじさい

## 会長就任の挨拶



小林 秀夫

令和5年度保護司会総会において末吉一夫会長の後任として、会長に選任されました。このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いと同時に責任の重さを痛感しています。私は平成24年4月に保護司委嘱を受け、10年余りの経験ですが、新人保護司のように対象者と向き合っています。面接で心がけていることは、寄り添う気持ちで話を聞くことです。私は会長として初めて行うことばかりを今体験しています。失敗もあるでしょうが、副会長、総務部長、事務局をはじめ皆様のご支援、ご協力を頂きながら、自分なりの歩調と歩幅で歩いて行きたいと思っています。さて、保護司適任者の安定的確保とともにスムーズな新旧交代を着実に進めていくことが、当会の課題であると思っています。現在、当会の保護司は定員34名に対して3名の欠員です。さらに令和12年度までに20名が定年退任を迎えます。今後これだけの保護司確保が必要で、急速な

新旧交代が進みます。保護司の安定的な確保のためには、まず、私たち一人ひとりがパンフレットなどを活用しながら保護司や更生保護活動について広く啓発活動を行い、保護司適任者情報を収集することが必要となってきました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大もあって保護司候補者検討協議会も3年間自粛を余儀なくされました。この協議会の開催も急がれます。

新型コロナウイルス感染症によって事業の中止、自粛を強いられました。しかし、5月8日以降、感染防止対策は個人等の状況に応じた判断が基本となりましたが、この感染症がなくなったわけではありません。5年度の保護司会事業が、引き続き基本的な感染防止対策の取組みを行いながら進めてまいります。各部会で実施が数年ぶりに行われるものもあります。保護司皆様方と知恵を出し合い活動していきたいと思っています。

結びになりますが、保護司の皆様方はもちろんのこと、川崎市並びに更生保護関係者の皆様や地域の皆様と手を携え、更生保護活動を進めてまいりますのでご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。

担当主任官挨拶



横浜保護観察所  
保護観察官  
水野隆太

平素より、更生保護の諸活動に多大なご尽力とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。本年4月から多摩地区の担当を拝命しました水野隆太と申します。

平成19年4月に法務省採用となり、初任庁は甲府保護観察所でした。事務官として3年、保護司及び会計業務に従事し、4年目は横浜保護観察所でBBS保護大会の業務に就きました。

5年目、前橋保護観察所で初めて保護観察官として拝命され、諸般の事情で、新幹線通勤で前橋保護観察所に勤務をし、3年間で地球3周分の距離を移動しました。横浜に異動となり、麻生地区、横須賀(南)地区を担当し、さいたま保護観察所に2年異動を命じられ、令和2年4月から横浜保護観察所に戻ってきました。

保護観察官としては10年以上従事していますが、専門性は高く、絶対的な答えはない仕事です。『最適解ではないかもしれないが、常に最善を尽くそう』と思いつながら、仕事をします。まだまだ若輩者であり、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしく願います。

就任挨拶



副会長  
内藤洋子

保護司を拝命し17年半。いつの間にか女性保護司の年長者となり、令和5年度総会で多摩区保護司会の副会長を仰せつかりました。

当保護司会は歴代先輩方から温かく和やかな空間を受け継いで参りました。新会長と共にその大切なものを護りながら、喫緊の問題でもあります新任保護司のお迎えができますよう尽力させていただきます。

保護司は決して楽しい仕事ではありません。自分の人生では経験したことのない人生に向き合い、この心の響く言葉は？同情で解決もできず、私に出来ることは、話を聞く、話してくれたことを褒める、そして自分の人生で多く経験した失敗談を話して笑わせること、など自分の非力さに落ち込みながらも多くの対象者との面接をしてきました。

保護観察の処分を受けたことを、つまずきと捉えるのではなく、新たな人生のスタートと思ってもらえる向き合い方を心掛け、優しいおぼあちやんで在りたいと思っています。

就任挨拶



副会長  
平山方夫

今年度、副会長を仰せつかり身の引き締まる思いです。私は幼稚園の園長をしておりますが、これまで見てきました対象者は温かい家庭という環境を知らずに大人になっていった人が殆どであることに驚きました。人は多少差はあれど年齢によって段階を踏み成長していきます。この成長は自分の中に安心感がないとそこで止まってしまい次へ行けないものなのです。心の安定がないと安定を求めますが、受け入れられないと自己肯定感が下がりが他人や周りが悪者だとみてしまうことがあります。

その人は誰かに認めてもらいたいといひねくれながら思っています。本当は親(家庭)に認められれば、ストッパーが外れ次の成長に進めるのでしようが、幼い頃に刻まれた記憶は根深くて解くのに時間がかかります。

対象者には、これからも寄り添いの対応が基本と感じます。保護司会全体に関わることで、保護司の人材不足、コロナ対応の変換など課題は山積ですが、小林新会長のもと一助となる様に努力したいと思っております。皆さま方のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。

今年度、副会長を仰せつかり身の引き締まる思いです。私は幼稚園の園長をしておりますが、これまで見てきました対象者は温かい家庭という環境を知らずに大人になっていった人が殆どであることに驚きました。人は多少差はあれど年齢によって段階を踏み成長していきます。この成長は自分の中に安心感がないとそこで止まってしまい次へ行けないものなのです。心の安定がないと安定を求めますが、受け入れられないと自己肯定感が下がりが他人や周りが悪者だとみてしまうことがあります。

新任保護司紹介



菅地区  
山本泰子

令和5年4月1日付で保護司を拝命致しました山本泰子と申します。

菅地区で生まれ育ち、3人の息子も同地区で育ててまいりました。菅小学校、南菅中学校で図書ボランティアを、また地域では少年野球チームや子ども会、お祭りの手伝いや神輿担ぎ等々、多くの方々と協力しながら様々な体験をさせていただきました。

元来、どこの子もうちの子と同じ様に主義としておりましたので地域の子は全てうちの子という思いがあります。

児童の手伝いや普高等学校でのPTA会長を経て、多摩市民館での「たまたま子育てまつり」の実行委員長をさせていただきながらボランティアに従事する日々です。

保護司のご依頼をいただき、今、微力ではございますが子育てや地域での多くの方々との経験が少しでも役に立ち、そしてそれが皆様へのご恩返しになればと思っております。ご指導宜しく願います。

# 対象者の声

わたしはとある事情があり、保護司の方と繋がりを持った市民です。事情というのはここでは明言を避けますが、偽りの人生を歩んでいました。

全てが嵐のように過ぎ去った後、どこに向かえばいいのか？という夕イミングで保護司の方と巡り合い、月2回の定期面談を今現在も行っていきます。

専門通院や報告義務、カウンセリングとは違い、世間話や取るに足らない事を話す場所…。最初はこのような関係が何の役に立つのだろうか？と疑問符でした。

優等生的な自分を演じて、気に入られる事に尽力したりもしました。転機となったのは、個人的な問題や弱み(家族・仕事関係)を吐露してからです。お互いの人生経験をさらけ出してとことんぶつかる・対峙する、ここまでしてやっと肩の荷が下り、「ああ、あの人にゆだねていい」という感覚を会得できたのです。

今では、私の旅先の写真や土産話、日常のボヤキや笑えた出来事だけで

報告が終わる事もあり、私の安全な場所です。

安全な場所での信頼をし、お互いがコミュニケーションをとる、この当たり前のプロセスが社会復帰や回復には有効だと思ふようになったのは、半年ぐらい経てからです。

今までその場さえよければいい、とやり過ごして進めてきた駒が今回お世話になっていて保護司の方には通用しない…。正直にならないと回復の道のりには厳しいのです。今でこそ軽口をたたけていますが、毎月2回の面談は最初はよそよそしかったです。その枷を外してくださった保護司の方には感謝の気持ちでいっぱいです。

私自身、今は次の人生のステージに向かって日々忙しくしていますが、新たな悩みや問題、つまづきの癖が再燃するでしょう。

その時も安心安全な保護司の方と一緒に並走して乗り越えていきたいと思っています。

この度、初めて保護観察対象者の声を掲載しました。改めて、対象者に寄り添い犯罪や非行をした人達の立ち直りを支えていきたいものです。

## 薬物乱用防止指導員協議会の活動について

小林房雄

薬防協多摩支部は、区内から薬物乱用者を一人も出さないことを目的に、防止啓発に努めるとともに、薬物指導員の研修及び活動の強化を図り使命達成に努力しています。

多摩支部指導員は、保護司8名、薬剤師2名で主な活動は、宿河原二ヶ領のさくら祭り、妙楽寺のあじさい祭り、登戸民家園通りパレード、多摩区民祭などのイベントに参加し、啓発資材の配布、また区内の小中学校並びに公立高等学校で「薬物乱用防止教室」を開催し、薬物乱用の怖さを啓発します。

年間を通して指導員の研修と、リーフレット、ティッシュペーパー等の啓発資材の準備など、薬物乱用防止活動を実施しています。国・県・市が一丸となり年間を通して「不正大麻・けし撲滅運動」「ダメ。ゼッタイ。」普及運動に取り組み、県などの行政機関や関係団体と緊密に連携し、薬物乱用防止対策に力を入れているところです。



会長 内藤洋子

## 更生保護女性会

今年度より会長の要職をお引き受けすることとなり未だ戸惑いの日々を過ごしております。先輩方が残して下さっています足跡を辿りながら、ご指導頂きながら、歩を進めて行く所存です。

女性会では、コロナ禍になる前から全国で児童虐待について脳精神科の先生や、児相の虐待対策など研修を受けました。問題を抱えた方が支援団体の門戸を叩くことはほとんどなく、悲惨な結果がニュースで流れる、それが現実です。と課題を残した学びが続きました。そこで私たちに出来ること。「出会った方に、身近な人に、温かい言葉がけを！」小さな活動ですが多摩区更女の草の根活動として継続して参ります。



6月18日妙楽寺で恒例のあじさい祭りが開催され多くの来場者で賑わいました。今年は野点のお手伝いもあり12名での参加となりました。多くの方と笑顔の触れ合いは心地よい疲れと共に充足感の一日でした。

地区別会員名簿

( )は所属部会等

稲田地区

- 稲葉 俊明 (広報部)
- 小林 房雄 (総務部会長)
- 井田 秀人 (広報部会長)
- 米澤 律子 (啓発部会長)
- 小林 明正 (広報副部会長)
- 長谷川浩功 (総務副部会長)
- 江西 有枝 (広報部)
- 大津慎一郎 (啓発部)
- 河合 光利 (研修部)

登戸地区

- 小林 泰善 (監事)
- 内海 惠俊 (総務部)
- 小林 秀夫 (会長)
- 伊藤 節子 (会計)

中野島地区

- 松浦 隆 (啓発部)
- 田村 忠蔵 (監事)

菅地区

- 上原 隆志 (啓発部)
- 飯沼 祐順 (相談役)
- 平山 方夫 (副会長)
- 樋山 尚美 (研修部会長)
- 山本 泰子 (広報部)

生田東地区

- 田邊 健児 (顧問)
- 内藤 洋子 (副会長)
- 粕谷 充子 (研修部)
- 古谷 茂夫 (啓発副部会長)
- 配島 裕美 (研修副部会長)

生田中央地区

- 末吉 一夫 (顧問)
- 太田 裕子 (相談役)
- 遠藤 悟 (総務部)
- 原山 修 (会計)
- 各務 雅彦 (総務部)
- 大竹 薫 (研修部)

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」は、全ての国民が犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くため、社会を明るくする運動に犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラを推進する全国的な運動です。

令和5年6月19日多摩区役所にて第73回「社会を明るくする運動」多摩区推進委員会が、関連諸団体参加のもと開催されました。前年度の活動報告と本年度の活動計画が話し合われました。身近な協力のしるしとして「幸福の黄色い羽根」のもと各地区で活動が開催されます。

広報部



令和5年度 前期事業報告(4月~9月)

- 4/ 3 三役会・理事会
- 4/17 会計監査
- 4/21 三役会・理事会
- 4/26 定例会・令和5年度総会
- 5/10 定例会・定例研修会「しよく罪指導プログラムについて」  
新任保護司オリエンテーション
- 5/18 第73回「社会を明るくする運動」川崎市推進委員会(川崎市役所第4庁舎)
- 5/25 令和5年度川崎市保護司会協議会評議員会(川崎市役所第4庁舎)
- 5/30 第1回地区保護司会代表者会議(横浜保護観察所)
- 6/ 7 三役会
- 6/14 理事会・定例会・川崎市による特別市出前説明会  
自主研修会「薬物依存症者への理解と対応」(ビデオ視聴)
- 6/18 妙楽寺あじさい祭り(更女・薬防協啓発活動)
- 6/19 第73回「社会を明るくする運動」多摩区推進委員会
- 6/26 第73回「社会を明るくする運動」標語パネル掲出依頼  
第73回「社会を明るくする運動」作文コンテスト募集依頼(啓発部会)
- 7/ 1 第73回「社会を明るくする運動」強調月間各地区にて活動参加
- 7/12 理事会
- 7/22 民家園通り商店会夏まつり(更女・薬防協啓発活動)
- 8/ 9 定例会・自主研修会「事例研修」
- 9/13 定例会・自主研修会「中学校生徒指導担当教諭との情報交換会」(予定)

総会報告

令和5年4月26日(水)多摩区保護司会の総会が定例会に引き続いて、多摩区役所にて開催されました。来賓として、藤井智弘多摩区長、小澤直幸統括保護観察官と水野隆太保護観察官に出席していただきました。議長に選出された長谷川浩功保護司のもとで、令和4年度事業報告、決算・監査報告と令和5年度事業計画、予算案を審議し、承認されました。今年、総会後の懇親会が4年振りに開催されました。

総務部

事務局紹介

本年4月から多摩区役所地域みまもりセンター地域ケア推進課長中山礼子様、係長松井寿美子様、担当の金田美弓様より細やかなご支援を頂き心より感謝しております。

又、前課長高橋みゆき様にはこれまでのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

編集後記

「更生保護たま第21号」を発行するにあたり皆様にご協力いただき感謝申し上げます。

新型コロナウイルスは5類に移行され活動が再開ははじめました。自身の体調に十分留意した上で、活動していきたいものです。